

今までの授業

- ① 知識・技能について
 - ・導入の部分で題材に関する知識学習をプリント等で丁寧に説明をしてから制作に取り組んでいる。技能面においては、動画の活用や個別指導をしていくことによって、平均的に技能を身に付けることはできている。
- ② 思考・判断・表現について
 - ・参考作品や生徒の作品、有名な作家の作品などから作品の工夫や良さを感じさせることはできた。作品制作の導入においてもマッピングや発想のヒントとなる活動、インターネットの活用などを多用した。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度について
 - ・どの学年も課題に対して意欲的に取り組み、授業態度も落ち着いている。提出物も授業毎に声かけをおこない全員が提出できるように求めた。

課題

- ① 知識・技能について
 - ・週一回の授業なので、知識が十分に理解定着できない生徒がみられる。技能においては、苦手意識がある生徒や、失敗を恐れず大胆な生徒もいて、個人差もあり一斉授業では補えないところもある。
- ② 思考・判断・表現について
 - ・発想の工夫ができない生徒が多い。そのため、資料の活用や良い作品の鑑賞などを用いて導入授業を進めるが、意図に沿って自己の発想につながらない生徒が増えていると感じる。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度について
 - ・全体的に見通しをもって制作することが苦手である。そのため、補習授業で対応したが、不十分に終わってしまった生徒もいた。また、予習復習をする生徒は少なくない。

授業改善の具体的な方策

第1学年

【授業を改善すること】

- ・基礎的な知識や技能を身につけさせた上で、発展的な課題を行い、制作する中で自己の力を引き出す指導の工夫を行う。
- ・美術への興味関心が高まる教材の選定と指導の工夫を行う。
- ・生徒の発想を否定せず、認めることにより自信をもたせる。
- ・道具の準備や片付けなど責任をもって行わせる。
- ・作品の完成に伴い、達成感と自信をもたせるとともに創る喜びを味わせる。
- ・動画などを使って、具体的にわかりやすい授業を目指す。

第2学年

【授業を改善すること】

- ・一人ひとりへの声掛けを大切にして造る楽しさを味わわせながら助言を行い、丁寧な指導を心がける。
- ・技能の向上を目指す教材と指導の工夫を行う。
- ・自主的な取り組みを引き出していく指導や評価を行う。
- ・教材にあった表現活動を意欲的に行わせる。
- ・予定時間内に制作が終わるように計画的に活動ができるように働きかける。
- ・興味関心のもてる学習内容を工夫し、わかりやすい資料の作成を行う。
- ・動画や参考作品などを使って、具体的にわかりやすい授業を目指す。

第3学年

【授業を改善すること】

- ・一人ひとりへの声掛けを大切にして造る楽しさを味わわせながら助言を行い、丁寧な指導を心がける。
- ・積み上げてきた成果を発揮させる教材の設定を行い、達成感を味わわせる。
- ・自主的な取り組みや、意欲的な取り組みを指導、評価する。
- ・作品制作へのこだわりや工夫を重要視させ、思い出の残る作品を制作させる。
- ・参考作品や生徒作品、有名な作家の作品などから関心を高め意欲をもって制作に取り組ませる。
- ・限られた時間の中で見通しをもって制作させ、どうしても授業時間が足りない生徒には、補習で対応し全員完成に導き達成感を味わわせる。

